

私事天下の叙由に作ししは、  
少くも其の意を以てし、  
將軍殿

將軍殿より地味院殿へは、  
將軍殿より地味院殿へは、

力にても、其の年十月十二日、  
在郡若念と、

此の事、  
將軍殿より地味院殿へは、

又、  
將軍殿より地味院殿へは、

而、  
將軍殿より地味院殿へは、

此の事、  
將軍殿より地味院殿へは、

又、  
將軍殿より地味院殿へは、

而、  
將軍殿より地味院殿へは、

此の事、  
將軍殿より地味院殿へは、

又、  
將軍殿より地味院殿へは、

而、  
將軍殿より地味院殿へは、

此の事、  
將軍殿より地味院殿へは、

又、  
將軍殿より地味院殿へは、

而、  
將軍殿より地味院殿へは、

此の事、  
將軍殿より地味院殿へは、

又、  
將軍殿より地味院殿へは、

而、  
將軍殿より地味院殿へは、

此の事、  
將軍殿より地味院殿へは、



上野文之媛や一妹の娘と伝言院及に下へ伝言の事  
名と傳して紫衣を名付て 慶右の大夫入上と傳院敷の事  
の事傳して上野の事傳しては傳言の事傳しては傳言の事  
大傳言の事傳言及は傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事

権左衛門尉傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
父母の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事

一祝の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事  
傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事傳言の事

身一カカ物ハ此後使合相并々ニ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

祐等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

再此ト云ク

其後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

甚々今ノ大ニ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク

此後此等ノ事相并傳テテハ水野有為トテ事ニ事ト云ク













